



徳成寺 寺もかわら版

第116号 2016年8月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

早くも8月のお盆を迎えます。お盆とはお釈迦様の弟子・

目蓮尊者が得意の神通力を使って、今は亡き自身の母親を尋ねる

物語に由来しています。見つかった母親はあろうことか餓鬼道に落ちて

飢えて苦しんでおりました。そこで釈尊にアドバイスを受けた目蓮尊者は、

衆僧を供養する仏事を執り行うことで、母親を救い出したと説かれています。

今は亡き人との再会や、こころが通じ合うことがお盆のテーマになる

理由がそこにあります。死人に口なしと言いますが、忘れ去られて

しまうことは、とっても寂しいことですね。お盆には、亡き人と

向き合い、にぎやかに過ごして頂きたいです。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

長男です。

住まいは神奈川なのですが、新宿方面へのアクセスが非常に良いわりに、横浜方面に出て行くのがとっても面倒なので、今まで横浜には行ったことがなかったのですが、先日上京して6年目にして初めて横浜中華街に行ってきた。

今回ついてきてくれた友達が小籠包しょうろんぼうが食べたいという事だったので、点心食べ放題の店へ行く事にしました。ところが横浜中華街に着いた瞬間に、目にしたそびえ立つ中華街のゲートがおおよそ想像する中国のイメージで、異国情緒溢れる様子に驚きました。まだまだこっちには知らない世界がたくさんあるようです。写真はお店のご飯。美味おいしゅうございました

